

大垣北高関東同窓会会報

第 4 3 号

令和 5 年 9 月 1 日 発行
大垣北高関東同窓会事務局
東京都中央区日本橋小網町
18-20-1005
TEL.03-3941-1612

【目次】	会長挨拶・・・・・・・・・・・・・1	会員のひろば・・・・・・・・・・・・・6
	令和 4 年総会・懇親会写真・・・・・・1	母校(北高)の近況・・・・・・・・・・・・・8
	2023 新卒業生歓迎会・・・・・・・・・2	令和 5 年(第 47 回)総会のご案内・・・・・・・・・9
	ビデオメッセージ事業・・・・・・・・・4	名刺広告・・・・・・・・・・・・・10

* 会長挨拶 *

令和 2(2020)年 10 月総会で会をあずからせて頂いてから 3 年目を迎えました。世界の人々の暮らしや価値観を変えたコロナ禍もほぼ終息を迎え、日常が戻った街の賑わいが報じられていますが、同じように見えても変化しているものが多いと思います。

大垣北高関東同窓会では、この 4 年間、会の世代の多様化と母校との協働を進めるべく、皆様から物心両面のご支援を頂いて参りました。その結果、幅広い世代が集える同窓会の形が少しですが、出来てきた気がします。

この 5 月に開催した新卒業生歓迎会をビュッフェ形式で開催したのに続き、本年度

の総会も立食形式に復して、ご参加頂く方相互の親睦を図るべく準備を進めています。コロナの渦中、遠ざかっておられた方も、是非お運び頂きたくお願い致します。

本年度の総会[10 月 8 日(日)開催]には、この 4 月に着任された小野 悟校長先生と兒玉榮一同窓会長(22 回生)もご出席頂ける予定で、来年創立 130 周年を迎える母校の記念行事についてもお話し頂けると存じます。

大垣北高関東同窓会へのご支援、ご協力を引き続きお願い申し上げます。

令和 5 年 9 月

大垣北高関東同窓会

会長 福澤賢治(北高 27 回生)

★★



令和 4 年総会・懇親会 (R4.10.9・四ツ谷主婦会館プラザエフ)

2023新卒業生歓迎会 開催報告 ~Diversity と Belonging~

2023(令和5)年5月28日(日)正午、東京・兜町のBooklounge Kableで2023年度の大垣北高関東同窓会 新卒業生歓迎会を開催しました。

当日集まった北高OBは、最年長の大野 馳氏(11回生)からこの3月に卒業したばかりの74回生まで50名。その中で新卒業生は16名。これは本年度、北高から首都圏の大学に進学した生徒45名の35%に当たります。また、新卒業生歓迎会の案内を送るため、本校経由で関東同窓会に連絡先を知らせてくれた生徒も36名と、

首都圏大学進学者の8割を占め、関東同窓会による新卒業生歓迎会が北高生たちに定着して来ています。

更に大学院在学中も含めた2019~2022年度卒業の現役大学生が9名参加。北高卒業生のつながりが若い世代でも出来つつあります。

本会が2019年4月に初めて開催した新卒業生歓迎会では、新卒業生4名とOB5名、計9名のささやかなものでしたので、この日の盛況ぶりは隔世の感がありました。



昨年の歓迎会が会場の都合で90分間の開催となり、ゆっくり話がしたかったという声が多かったので、今年は4時間利用できる会場を設定しました。更に参加者も増えたので、極力全員ともれなく話せるよう、3グループに分けた上でグループ替えを3回行いました。

結果的には新卒業生たちも、上の世代も、4時間でも話し足りなかったようで、会場の終了時間になっても帰ろうとする人はいませんでした。

昨年の歓迎会にも4年生の先輩たちが参加してくれましたが、今年は各学年の学生たちが当日のお手伝いのみならず企画段階から同窓

会に様々な意見やアイデアを出してくれました。グループでローテーションする方法はその結果、実現しました。もちろん歓迎会当日は、学生生活のアドバイスなどを積極的に後輩にしてくれていました。

散会後は学年ごとにLINEグループを作ってクラス会の相談をする姿も見受けられました。

この会を通じて関東地区に進学した北高生の上下左右のネットワークが出来つつあるようです。

来年以降も、関東の地に進学してきた後輩を北高卒業生の絆で支える会を開催したいと考えています。今般の開催に至る本校のご協力、誠にありがとうございました。



土本英樹氏(防衛装備庁長官・31回生/右端)と談笑



サロンの後で東大4年鈴木君が東大に進学の田さんにアドバイス



勅使河原三保子氏(駒澤大教授・42回生/右端)のお話を聞く



今年の会場の Booklounge Kable

スタッフで参加の三和裕美子・明治大学教授(35回生)の総括

新卒業生歓迎会には初めて出席しました。思ったよりも新卒業生を含めた現役大学生が多く、活気がある会でした。また、11回生(1960年卒)から74回生(2023年卒)の卒業生が参加されており、多様な「世代・ジェンダー・経歴」の方々が集って大変楽しい会でした。多様性の時代と言われている昨今、Diversityの先にはBelongingと言われています。Belongingは「帰属意識」とも訳されますが、「何か安心でき、心地よい繋がり」という意味だと思います。北高生の集いは、北高という繋がりを実感させてくれるまさにDiversityとBelongingを体感できる会でした。

ビデオメッセージ事業の報告

令和2(2020)年に本校との協議を経てスタートした、北高卒業生から在校生に向けたビデオメッセージ事業。令和3年に北高への納入が始まって3年が経過し、この6月までの累計で16作品、延べ20名の卒業生に登壇して頂きました。令和5年は、この7月まで防衛装備庁長官として連日のように国会審議に出席されていた土本英樹氏(31回生)、駒澤大学教授として英語教育に携わっておられる勅使河原三保子氏(42回生)、インド法に精通した国際弁護士として活躍されている大河内亮氏(48回生)、北高生から要望が多かった20代の代表として(株)日立製作所で鉄道システムビジネスに従事されている寒田彩子氏(64回生)にお話し頂きました。

今年からの企画として、講師の方が決定した時点で全員のプロフィールを北高に連絡し。北高で各講師への質問事項を生徒に聞いて取りまとめたものを各講師にフィードバックした上でお話頂く内容を決める、というプロセスを取りました。令和5年のビデオの生徒への公開は夏休み明けから始まりますが、生徒たちの反応が楽しみです。

これまで登壇して頂いた皆さんすべて、ご多忙にも関わらず、母校と後輩のために時間を割いて頂くばかりか、詳細なプレゼン資料まで作って頂き、頭が下がるばかりです。同窓会としては今後も北高生の心に響くビデオ教材を制作したいと思っています。

北高進路指導の教材としての評価 ― 大垣北高 進路支援部から

令和3年度・4年度は、1年生のホームルームの時間を使用して、クラスごとにビデオを視聴しました。1年生にとって、日本や世界で活躍する北高の卒業生の話を聞くことは非常に良い機会となりました。インタビューやパネルディスカッション形式のビデオでは、異なる場所で活躍する卒業生同士のやり取りを聞くことができたことも印象的でした。これからも進路や学習方法に迷う生徒にとって大いに参考になるものだと考えています。

今年のビデオメッセージの概要

『国を護り、世界を架ける公僕』（土本英樹氏／防衛装備庁長官・31回生）

中国やロシアの台頭で世界のパワーバランスが激変する中、日本国の防衛政策も大きく見直されようとしています。その真ただ中の2022年7月、防衛装備庁長官に就任された土本さんに、防衛省内の長官室から北高生へのメッセージをお話し頂きました。

国を動かす官僚組織のトップとして、アメリカ国防総省を初めとした諸外国を飛び回って

各国の国防部門の責任者と防衛政策を議論する多忙な長官の原点は、毎朝安八町から揖斐大橋を渡って自転車で30分かけて通学した北高生活でした。

国家公務員も日本国を背負って国際的な場で折衝することが日常的に求められる現在、土本さんは英語を身に付けることの大切さを北高生に訴えられています。

『誰もが持っている翼を広げてはばたけ』（勅使河原三保子氏／駒澤大学教授・42 回生）

駒澤大学で英語を教えられている勅使河原さん。イジメを無くす教育者を目指して名大教育学部に進学されますが、大学で手にした言語学の本に啓発されて文学部に転部。言語学の研究に没頭します。専門は音声言語学なのですが、望み通りのポストに就けなくとも、前向きに乗り越えられています。

司会は北高 35 回生の明治大学・三和裕美子教授。共に留学経験のある北高出身の女性大学教授二人が海外で学ぶことや英語教育について語ります。

北高生からの事前質問が多かった受験英語の学習法については、本編の後に、特に講座を設けました。

『弁護士になって インドに住むことになるなんて思ってもみなかった』

（大河内 亮氏／弁護士：アンダーソン・毛利・友常法律事務所パートナー・48 回生）

数百人の弁護士を擁する日本を代表する巨大弁護士事務所の一つ、アンダーソン・毛利・友常法律事務所。ここでパートナーを務めるのが上石津出身の大河内さん。

日本以外に米国 NY 州の弁護士資格をお持ちの上に、インド研修を経てインド法にも通じた国際弁護士として、1 日の大半を英語での法律

議論に費やす毎日を送られています。

日本を代表する国際弁護士の大河内さんが北高生の希望が多かった東大合格のための勉強方法や実体験に基づいた東大での学生生活、法曹職（裁判官・検察官・弁護士）の仕事の実際などについて分かりやすく丁寧に説明して頂いています。

『北高を卒業してからの 10 年間、どう生きるか』（寒田彩子氏／㈱日立製作所・64 回生）

西部中 1 年生でベルギーにホームステイした寒田さん。その時に感じた驚きからフランス語圏で勉強することが 10 代の目標となりました。留学しやすいので選択した上智大でフランス留学の夢を実現させます。

20 代になって暮らしたフランスは、ホームステイした中 1 の頃には感じられなかったこと、見えなかったものが発見できました。留学を通じてパブリックなものへの関心を深めた寒田

さんは、私たちの生活を支えるインフラ企業の一つである日立製作所に入社して鉄道情報システムビジネスに携わっています。

大垣を離れて首都圏に進学すること、就職すること、そして女性としての人生航路の描き方。皆さんが北高を卒業してから 10 年間でどう生きるか、ご自身の現在進行形の体験から語ってくれます。

* これまでのビデオメッセージへの登壇者 *

<敬称略>

番号	氏名	番号	氏名	番号	氏名
21-01	所 功 (11 回生)	21-06	澤 祥幸 (27 回生)	22-05	河田 陽子 (38 回生)
21-02	川瀬 英司 (20 回生)	22-01	中村 航 (39 回生)	22-06	西脇 靖紘 (54 回生)
21-03	清水 達也 (38 回生)	22-02	北村 智宏 (43 回生)	23-01	土本 英樹 (31 回生)
21-03	石川 雅啓 (44 回生)	22-03	清水 千弘 (37 回生)	23-02	勅使河原三保子 (42 回生)
21-03	水谷 俊博 (46 回生)	22-04	松井 理恵 (49 回生)	23-03	大河内 亮 (48 回生)
21-04	三和裕美子 (35 回生)	22-04	磯崎 勝吾 (55 回生)	23-04	寒田 彩子 (64 回生)
21-05	古田 善一 (38 回生)	22-04	伊藤 達哉 (56 回生)		

製作本数合計 16 作品

会員のひろば

☆ 津守幾久子さん (14回生)

上京して六十年、ジュエリーデザイナーとして世界各地、日本全国への買付け、出張展示会など、忙しい時代を駆け抜け、現在は後継者も育ち自由制作と国内外一人旅を楽しむ生活です。

思い返せば、輪中地帯に生まれた田舎少女が東京の大学、卒業後パリ留学、結婚、子育てをしながら仕事を続けてこれたのは、多くの人の支えがあってこそ。今後の人生はなんらかの形で世の中に恩返しができますれば！！



津守さんの略歴：公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会会員。早稲田大学在学中から彫金を学び始め、卒業後、1969～'72年までフランスでも学ぶ。'83年ジュエリー制作工房“アトリエいびぎ”主宰以来、現代女流作家、手工芸作家展、協会展等のグループ展を始め個展多数開催、また、国際宝飾展、香港ジュエリーフェアなど国内外のショーにも参加、新作発表を続ける。

☆ 大橋 淳さん (45回生)

～起業、そして地元を離れ東京へ～
大学進学を機に地元を離れ千葉県に。その後は埼玉の会社に営業職として就職しました。兵庫営業所への転勤を経て数年後にサラリーマン生活は終了、身内の都合にて26歳で再び岐阜へ戻りました。

家業は古くから続く竹材屋だったため「このままでは継ぎたくない」と思ったのが人生の大きな転機でした。まずは田舎の事業をどうやって全国へ展開するか、そして自分自身が面白いと思えるような「ビジネス」をするかを考え、ネットショップで起業する事にしました。

楽しさも若さもあったと思いますが、365日ほぼ休みなく実践と勉強を繰り返して、それまで（経済学部だったくせに）興味もなかった経

営全般や財務、システム、HPデザイン等の必要な事を覚えました。この時に培った実践経験や人脈はその後の人生に大きく影響しており、商売の内容がどのように変化しても、何度起業しても助けになっています。



規模が大きくなり東京へ進出。ネットショップとしては成功した部類になり、大企業への会社売却などのチャンスにも恵まれました。正面から突っ込んでいく性格もあって、その後複数の事業を展開。渋谷区に工場を作り、洗濯代行・ランドリー事業を中心とした現在の形になっています。

起業は楽しいです。失敗した事業もありますが、自分で作り出す事が何より楽しい。熱い気

持ちで「何かやってやろう」と考えているなら、いつでも起業の相談に乗りますよ！ご連絡下さい。



大橋さんの略歴：J&Jカンパニー株式会社 代表取締役。1975年生まれ（北高45回生）・養老町出身・渋谷区在住。2001年にネットショップで起業し、2008年楽天総合グランプリ獲得。NEC-BIGLOBEへのM&Aを経て現在は不動産、民泊、ランドリー、洗濯代行サービス事業等を展開中。



☆長澤梨花さん（70回生）

大垣西中出身、高校時代はハンドボール部に所属し、日々練習に励んでいました。

高校卒業後は芝浦工業大学に進学し、憧れの一人暮らしを始めました。入学当初、大学柄女子が少ないのもあり、思うように友達ができず、毎日地元の友達や母と通話していました。大学にも慣れ、友達もできてきた大学2年の春、新型コロナウイルスの流行で大学にも、遊びにも行けない日々が続き、関東に出てきた意味があるのか考えた時期もありましたが、コロナの規制が緩和されるにつれ、勉学も遊びもより充実していきました。大学卒業後の現在は同大学院で運転中のドライバの集中力に関する研究をし、自動車業界への就職を目指しています。



長澤さんの略歴：芝浦工業大学大学院 理工学研究科 システム理工学専攻。



母校(北高)の近況

今春(令和5年4月)着任された小野 悟校長先生に、北高の近況についてお聞きしました。

—小野校長先生、はじめまして。関東同窓会です。お聞きしたところによると小野先生は以前にも北高で勤務してみえたとのことですが。

校長 はい。平成13年度から平成20年度までの8年間、数学科の教員として勤務していました。このたび、14年ぶりに本校で勤務することになり、大変うれしく思う一方、伝統ある本校で勤務することの責任の重さを痛感しているところです。

—最近の北高の様子について教えてください。

校長 新型コロナウイルス感染症が5類に移行された中、本校においても日常の日々が取り戻されつつあります。6月には4年ぶりに沖縄への修学旅行を実施しましたし、9月に実施する北高祭においても、保護者の方にも見てもらえる形に戻すことを検討しているところです。

—授業は元の形に戻ったのですか。

校長 電子黒板や一人一台端末が整ったことにより、これらを活用しながらの授業が増えていきますので、元に戻ったという感じではありません。例えば、生徒がそれぞれ書いた英作文を教員が自分のタブレットで確認することができますので、特徴的なものを皆に共有し、それに基づき大事な点を指導するというような授業はICTならではの授業と言えそうです。

—部活動の状況はどうか。

校長 ソフトテニス部3年生の川田さん、松永さんのペアがインターハイ(北海道)へ出場したほか、ソフトテニス部、陸上競技部、剣道部、

弓道部が東海総体に出場をしました。また、文化系部活動においても、自然科学部、音楽部(吹奏楽・合唱)、文芸部(かるた)が全国総合文化祭(鹿児島)に出場しました。これ以外の部においても、それぞれの目標に向けて精一杯頑張ってくれています。特徴的な取組としては野球部の「大垣北 Jr ベースボールラボ」があります。これは地域貢献について学んだ野球部の生徒が、「自分たちにもできることがあるのではないか」と考えて始めた取組で、地域の小学生に、2~3週間に1回のペース(夏の時期は除きます)で野球だけでなく運動の仕方や勉強を教えるというものです。企画・運営の全てを生徒が行っており、小学生の様子を見ながら毎回練習メニューを少しずつ変えながら実施しているのが特徴で、新聞にも取り上げられました。機会があれば、是非、見学してください。

—進路の状況はどうか。

校長 国公立大学には東大2名、京大4名、名大22名等合計163名が合格しました。なお、首都圏の大学には今春は45名が進学しました。貴会には大学新入生の歓迎会を開催していただくなど、ご支援いただいております。心強い限りです。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

なお、最後になりましたが、本校は、来年、創立130周年を迎え、記念事業を実施する予定です。関東同窓会の皆様にも様々な形でお力をお貸しいただくことが多くなると思います。どうぞよろしくお願いいたします。



タブレットを使ったグループ発表



修学旅行①



修学旅行②

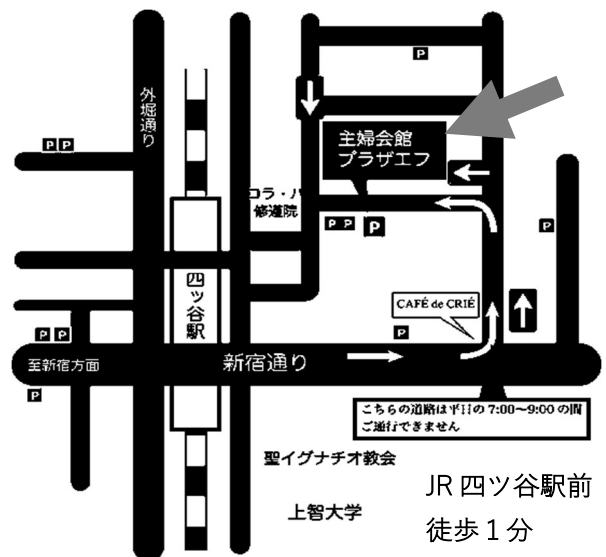


小野 悟校長先生



◇ 令和5年(第47回) 総会のご案内

- [日 時] 令和5年10月8日(日)
 11:30～ 受付開始
 12:00～14:30 総会・懇親会
- [会 場] 主婦会館プラザエフ
 東京都千代田区六番町 15
 電話 03-3265-8111
 JR 四ツ谷駅 翹町口から徒歩1分
 東京メトロ 四ツ谷駅から徒歩3分
- [参加費] 8,000円 (記念写真代等諸費含)
 大学生無料



あとがき

会報も43号の発行となりました。北高関東同窓会の歩みも年を重ね、本会は90歳代から新卒業生の18歳まで幅広い方で構成しています。限りある紙面でより充実した内容を目指してまいりますので、引き続き、皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い致します。

公正証書遺言作成・家族信託相談

松岡司法書士事務所

司法書士 松岡 義明

(北高十三回生)

〒一〇三二〇〇一六 東京都中央区日本橋小網町十八丁目二

ヴェラハイツ日本橋九〇五号

電話：〇三三六六三二五七二八 FAX：三六六七四七六九

株式会社ホンダカーズ東海

相談役 今川 喜章

ヨシ アキ
(北高二十七回生)

〒五〇三二〇八五六 岐阜県大垣市新田町二丁目三三四

メール：yimagawa.vac00@honda-auto.ne.jp

養老アセットマネジメント株式会社

執行役 永井 卓哉

(北高三十八回生)

〒二四六二〇〇九二 東京都大田区下丸子四丁目二六二三

メールアドレス：ynagai@yoroam.com

ジュエリーデザイナー

(公社)日本ジュエリーデザイナー協会会員

津守 幾久子

(北高十四回生)

〒一〇五〇〇二一 東京都港区新橋一丁目

東京ツインパークスL440二

電話 FAX：〇三三五七五〇七三三 メール：jtsk1018827@gmail.com

大垣西濃信用金庫

会長 栗田 順公

マサ ヒロ
(北高二十七回生)

〒五〇三二〇八二八 岐阜県大垣市恵比寿町一丁目

電話：〇五八四七五六一一 FAX：七五五二二〇

中小企業庁登録M&A支援機関
株式会社矢橋コンサルティング

代表取締役 矢橋 敬

(北高三十八回生)

〒五〇三二二二三 岐阜県大垣市赤坂町二〇九八

ホームページ：https://yabashi consulting.co.jp
メールアドレス：yabashi.takashi@yabashi consulting.co.jp

電話：〇九〇九二二二三四四

株式会社三輪酒造

相談役 三輪 恒久

(北高二十回生)

〒五〇三〇九二二 岐阜県大垣市船町四四八

電話：〇五八四七七八二二〇 FAX：八一二〇六五

地球科学に関わるグローバルな総合専門企業グループ
応用地質株式会社

代表取締役社長 天野 洋文

(北高三十五回生)

本社：東京都千代田区神田美土代町七番地

住友不動産神田ビル九階
(東証プライム上場)会社 URL: https://www.oyo.co.jp

創業安政六年
田中屋せんべい總本家

代表取締役 田中 裕介

(北高四十三生)

〒五〇三〇八八五 岐阜県大垣市本町二一六

電話：〇五八四七七八三三 FAX：八一五五五一

携帯：〇九〇五四五九一七二〇四

大垣北高同窓会会長

コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役社長 兒玉 榮一

(北高二十二回生)

〒五〇三二二九三 岐阜県安八郡神戸町大字末守三三七七一
電話：〇五八四一七四一四 FAX：二七六八二二〇

健康寿命を伸ばす「NORUテオル整体 銀座院」を運営中
アソラーレ管理株式会社

代表取締役 林 勝好

(北高三十八回生)

〒二七二一〇一四二 千葉県市川市香取一丁目九
店舗 URL: https://www.naorusalon.com/shops/ginza/
メールアドレス: soratobukassan@gmail.com

企業法務・不動産・労働問題の身近な相談役
馬淵総合法律事務所

弁護士 馬淵 裕二

(北高五十回生)

〒一〇四一〇〇六一 東京都中央区銀座一丁目一八六
井門銀座一丁目ビル五階
電話：〇三六六三〇八〇七 URL: https://mabuchiaw.jp

図書紹介 *皇室史の全体像に迫る最新作*

『天皇の歴史と法制を見直す』所 功著 <藤原書房>
二千年近く続いて来た歴代天皇と宮廷文化の実像
を解き明かし、近現代の皇室法制の成立史と問題
点を概述しながら、当面必要な改善案も提示する。



岐阜県立大垣北高関東同窓会

ホームページ <https://ogakikita.com/>

E-mail: kantogakikitahs@gmail.com